

コース名： 情報セキュリティ対策実践シリーズ 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編

受講日

氏 名



問題 1

情報セキュリティの観点から内部統制の仕組みを構築し、運用する取り組みとして、適切なものを1つ選びなさい。

1. 情報セキュリティインシデント
2. 情報セキュリティスペシャリスト
3. 情報セキュリティガバナンス
4. 情報セキュリティホール

解答



問題 2

JIS Q 27000:2019 における情報セキュリティの定義として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 情報の機密性、完全性、及び可用性を維持すること
2. 情報の信頼性、保守性、及び可用性を維持すること
3. 情報の利便性、有効性、及び信頼性を維持すること
4. 情報の生産性、利便性、及び信頼性を維持すること

解答



問題 3

ファイアーウォールのアクセス制御技術の種類として、適切なものを1つ選びなさい。

1. ペネトレーションテストとステートフルパケットインスペクション
2. パケットフィルタリングとセキュリティスキャナ
3. セキュリティスキャナとペネトレーションテスト
4. パケットフィルタリングとステートフルパケットインスペクション

解答

問題 4

DMZ の役割として、適切なものを 1 つ選びなさい。

1. ネットワーク障害時に切り替わるバックアップ専用のネットワークエリア
2. 内外ネットワークの境界を越える直接アクセスを遮断し、内部システムを隠蔽するネットワークエリア
3. 稼動システムから切り離されたシステム開発専用ネットワークエリア
4. 内外ネットワークの境界を越えて直接アクセスしている通信のログを取得し、保全するネットワークエリア

解答	
----	--

問題 5

EDR の役割として、適切なものを 1 つ選びなさい。

1. エンドポイントにおけるウイルス感染後の不正な挙動を特定し迅速な対応を可能にする
2. 機密度に応じたデータ操作制限や外部への送信制限を自動で行い情報漏えいを防止する
3. 外部サイトへのアクセスをフィルタリングすることでウイルス感染を予防する
4. PC のネットワーク接続時に保護領域へ隔離しポリシーとの準拠性を自動検査する

解答	
----	--

問題 6

暗号方式の特徴として、不適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 共通鍵暗号方式は、暗号化と復号で同じ鍵を用いる
2. 公開鍵暗号方式は、データの守秘に加え、デジタル署名に利用できる
3. 公開鍵暗号方式は、共通鍵と公開鍵の 2 種類の鍵を管理する
4. 共通鍵暗号方式は、データの守秘が実現でき、処理も速いという特徴がある

解答	
----	--



問題 7

インターネット VPN に関する説明として、不適切なものを 1 つ選びなさい。

1. インターネットを使用して複数の拠点と VPN 接続ができる
2. 拠点間でやり取りする業務データの暗号化は、公開鍵暗号方式が利用されている
3. インターネット上の拠点間通信データは IPsec を利用して保護している
4. 屋外からリモート端末（ノート PC やスマートフォン）を利用して拠点への VPN 接続ができる

解答	
----	--



問題 8

情報漏えい対策やモバイル端末の紛失における主な対策技術として、不適切なものを 1 つ選びなさい。

1. HDD の暗号化
2. 遠隔消去
3. サンドボックス
4. シンクライアント

解答	
----	--



問題 9

正常な状態からの逸脱をログの相関分析で検知し、早期に異常を警告する技術的対策の名称として、適切なものを 1 つ選びなさい。

1. SIEM
2. ネットワークフォレンジック
3. MDM
4. コンピュータフォレンジック

解答	
----	--



問題 10

CSIRT の説明として、適切なものを 1 つ選びなさい。

1. ファイルやデータベースのアクセス制御をポリシーに基づいて管理するための運用体制のこと
2. 様々な業務システムに対しリスクアセスメントを実施し、リスク対応の計画立案をする体制のこと
3. インシデント発生を速やかに検知・対応するための情報収集および計画と、またそれを実行する専門的な体制のこと
4. ネットワークのアクセス制御をポリシーに基づいて管理するための運用体制のこと

解答	
----	--